

広告

企画・制作/読売新聞大阪本社広告局

第5回 関西元気な地域づくり発表会

関西各地の多様な地域資源を活かしてまちづくり、地域づくりに取り組んでいる活動団体が交流情報発信し、関西のブランド力を一層高めたいことを目指す「第5回関西元気な地域づくり発表会」が3月12日(金)にドーンセンター(大阪市中央区)で開かれた。藤井聡京都大学大学院教授による基調講演の後、各地域の18団体が3つの分科会に分かれて活動を報告。続いて行われた全体報告会では、参加者らが地域づくりの発展、向上にける熱い思いを語り合った。

基調講演

「生き物」としての「まち」の活力を増進させるのは「まちづくり町衆の活力」

京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻教授 藤井聡氏

私たちは「まち」といふ言葉に何となく温かみを感じ、「生き物」(有機体)として接しています。学術的にも古くから「社会有機体説(オーガニズム)」「社会」というものは「生き物」としてとらえられています。そして「まち」には伝統をたたえ活力があり、新たなものを生み続けていく「健全なまち」もあれば、伝統が継承されず、新たなものを生み出されることもないさびれた「不健全なまち」もあります。従って「まちづくり」とは「生物としてのまちの活力の増進」を指した取り組みであり、「まちづくり」において最も重要なものは「わが身の損傷を顧みず、心身ともに健康で長期的利他的視野をもった理性ある『まちづくり町衆』の活力」なのです。

「観光振興」分科会

「観光」という、形のない商品が抱える共通課題の解決に向けて取り組んでいくという認識で一致

阪南大学国際コミュニケーション学部 国際観光学科准教授 大谷新太郎氏

「観光」というテーマで6つの団体の発表がありました。それぞれ取り組みとしては年数を重ね、かなり力を入れてこられて実績を上げています。事例が多いことが分かりました。そして、それぞれ個別の取り組みをつなげて、横の連携ができるという面白さがある。面白くないものがないでしょうか。「観光」というものは形のない商品ですが、どうやってお客様に商品の存在を知らせ、予約をしていただく、そして現地に足を運んでいただくかということとを考えると、ある意味において「流通」ではないかと思えます。その点、どの地域にも共通した課題であり、参加された6団体は、今後はその課題に向けて様々な事業に取り組んでいきたいという認識で一致しました。

「地域資源活用」分科会

各地域にある地域資源を光り輝かせるのはそこに住む人々の思い入れ

NPO法人 人と自然とまちづくりと理事長 横山葵氏

自然や生き物を相手にした地域資源のほか、都会の中を流れる川や歴史的なお寺、まち並み、建物などを地域資源として活かした取り組みの報告を通して感じたのは、地域資源というものは色々な形で様々なまちに存在し、そこに住む人々の思い入れで光り輝いていくものなのだ、ということです。議論を交わしていく中で、「行政の縦割り」が解消するよう組織ができること、「まちづくり」の取り組みもより一層うまくいくのではないかと「行政は日本地図を見て事業計画を立てるが、これからは各地域固有の心算と地図をもとに色々な話ができるような仕組みになることを願う」といった意見が印象的でした。

「地域コミュニティ」分科会

「まちづくり」に取り組む市民は行政とどう関わっていくか

兵庫県生涯福祉学部 社会福祉学科教授 田端和彦氏

市民から行政に働きかける時は「どうしたらこういう効果がある」「このようにしたら問題が解決するのでは」といった問題解決提案型が受け入れやすく、そうなるには地域の方にどれだけ成熟した基盤があるかが問われます。また縦割り行政が有機的に連携を図ることができるようになるには、地域からの働きかけも必要です。さらに、「まち」もまた、命と同じくその交流によって、活力というものを分かち合うことができるのではないのでしょうか。行政と市民活動には共振関係があり、また地域間での共振もあります。こうした共振があれば、これから各地域として関西全体が、あるいは日本全体がもっと活力を持てるのではないかと感じています。

「地域コミュニティ」分科会 発表団体

串本・みんなの海をまもろう会

串本の海を守ることを目的に、地元「民」と「官」が協力した体制で活動しています。

飛鳥川じゃこ取りネットワーク

地域を流れる飛鳥川の自然を通じた地域コミュニティ作りを推進しています。

北大江地区まちづくり実行委員会

「住み、働き、遊び、遊ぶ、全てが快適な都心」を実現するための取り組みを行なっています。

兵庫県稲美町経営政策部企画課/稲美野荘園自治会

「稲荘農場まちづくりの会」を設立し、健康づくり事業、エコ事業や世代間交流事業に取り組んでいます。

堺すずめ踊り協賛会

堺に縁のある「すずめ踊り」を軸に、人と人がふれあうことのできる元気な地域づくりを推進しています。

日野川に砂れき河原をとりもどす会

日野川に砂れき河原を復元し、川を活用した地域づくりを目指し、活動しています。

「地域資源活用」分科会 発表団体

NPO法人日本ウミガメ協議会

神戸空港西緑地人工池で、ウミガメとふれあうイベント「ウミガメエコツアー」を開催しています。

NPO法人自然回復を試みる会・ピオトープ孟子

孟子不動谷の豊かな里山自然を活かした地域活性化に取り組んでいます。

平成OSAKA天の川伝説実行委員会

水都大阪の川面にLEDを光源とする「いのり星」を放流するなど、観光資源作りに取り組んでいます。

大江まちづくり協議会

四天王寺を核に、様々な団体や組織と協働し大江地域のまちづくりを推進しています。

宇陀市松山華小路実行委員会

宇陀市松山の歴史的町並みの路地をダリアの華で飾るイベントを開催し、まちづくりを行なっています。

近畿総合メンテナンス株式会社

建物メンテナンスのノウハウをもとに、田尻町の田尻歴史館を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

「観光振興」分科会 発表団体

さこし船岡を良くする会

宝珠山を起点とした魅力ある村づくりを目指し、各種イベントを実施しています。

財団法人山本能楽会

上方の伝統芸能を活かした「文化の香り高いまちづくり」に取り組んでいます。

また来たい余呉をみんなでつくるアイデア会議

体験型観光企画「余呉のええもん探検企画」に取り組む、地域活性化を考えています。

本宮町商工会

田辺市本宮町の地域資源を活用した着地型プラン事業での地域活性化を行なっています。

京都フラワーツーリズム推進協議会

京都四季折々の花の開花状況や観光の魅力を発信し、地域振興を図ります。

阪南大学松村研究室

新今宮観光インフォメーションセンターの運営とまちづくりに向けた社会的実践を展開しています。



主催/「関西元気宣言」発信運動本部 <http://www.kansai.gr.jp/genki>